

英文情報開示支援事業【Disclosure G】 提案依頼書 - 上場企業個別支援 -

令和7年2月

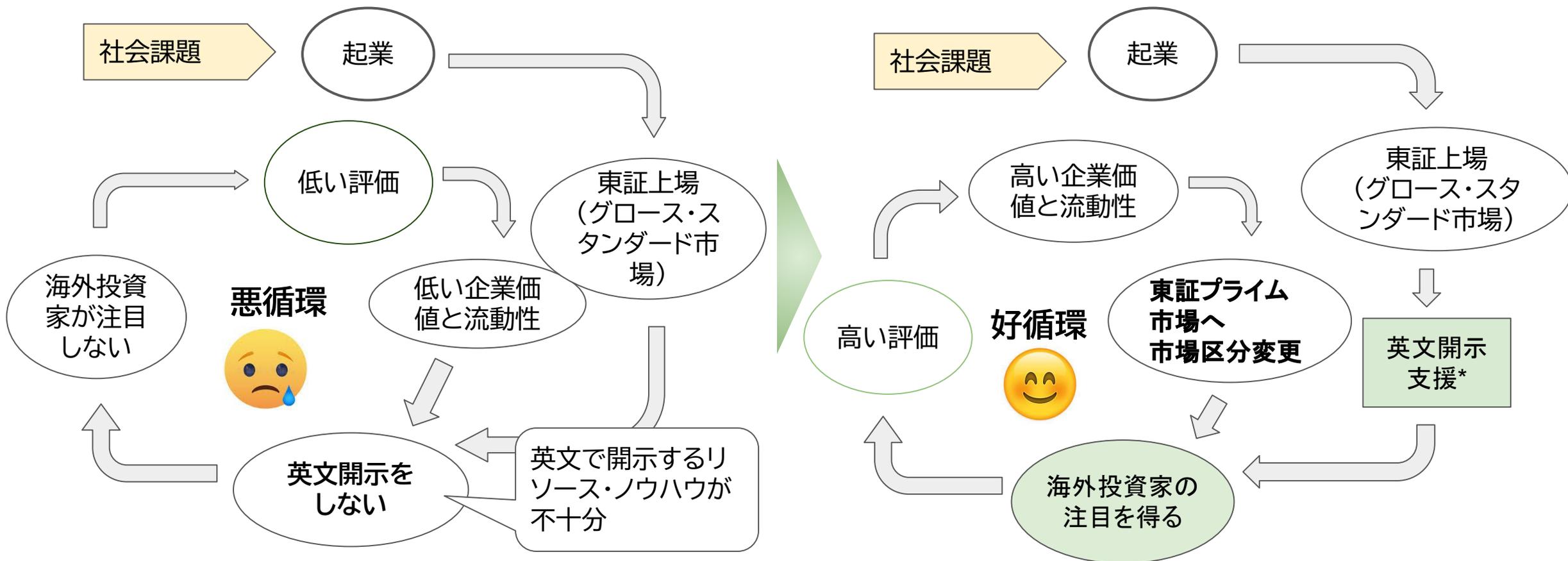
一般社団法人東京国際金融機構 (FinCity.Tokyo)



Disclosure G

上場中小企業英文開示に対する問題意識

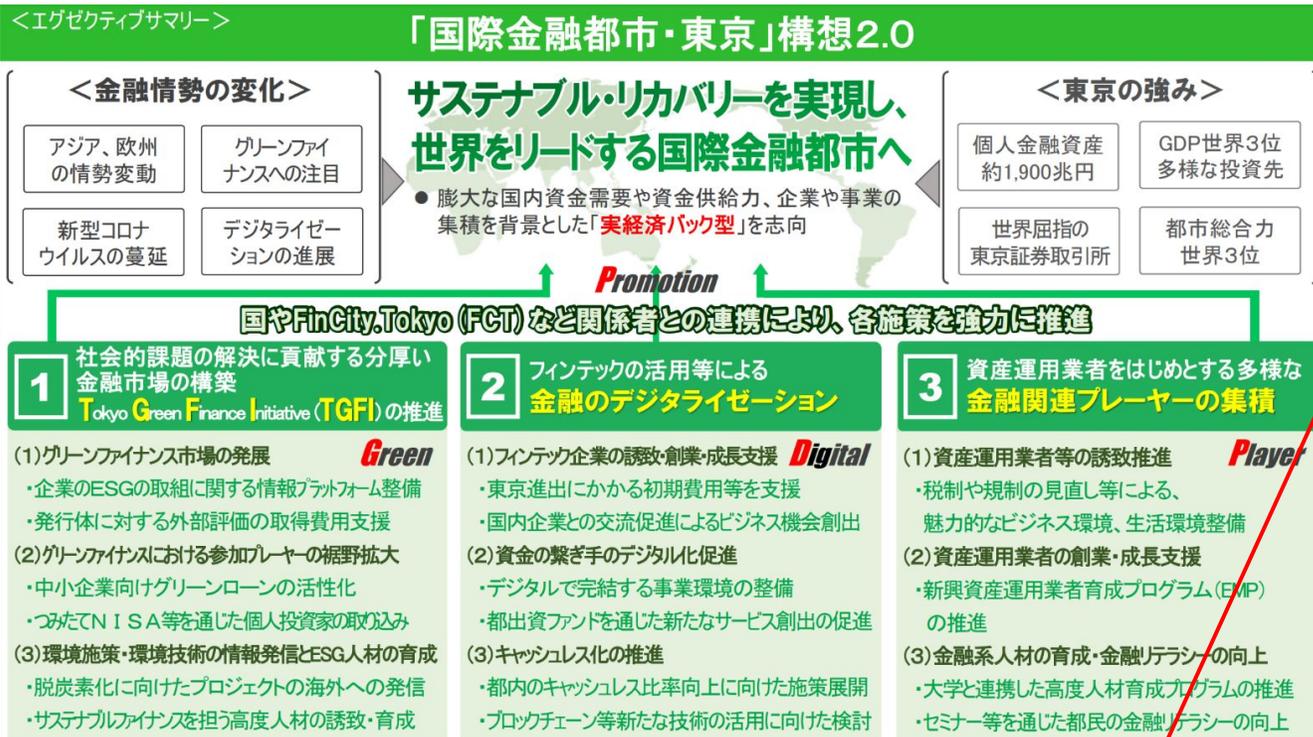
日本には社会課題解決を目的とした上場中小企業が多いが、英文開示を実施できている企業が少なく、海外投資家にはあまり知られていない。英語での開示を支援することで悪循環を好循環に変換できる。



*日本の上場企業3936社のうち、統合報告書等のESG開示を実施している企業は934社程度。

Source: KPMG [Survey of Corporate Reports in Japan 2023](#) よりFCT推計。

本事業と構想2.0の関係



IV 各取組に関する情報発信（プロモーション）

- ▶ 世界をリードする「国際金融都市」となるためには、FCTや日本貿易振興機構（JETRO）、海外の金融プロモーション組織等と緊密に連携しながら、都市としての魅力、都の具体的な支援策等を広範かつ戦略的に情報発信していくことが重要である。
- ▶ また、東京には優れた技術や製品を有しているが、人的・資金的制約等により、英語による情報発信が困難で、いわば「隠れた原石」となっている企業が存在する。こうした企業情報の、英語による発信支援は、東京への投資の呼び込みにつながる取組である。
- ▶ さらに、東京進出を検討する金融系外国企業・人材が、さまざまな支援施策などの情報を一元的に入手しやすい仕組みを整備していくことが重要である。

<主な取組>

① 「国際金融都市・東京」の魅力発信

- FCTや日本貿易振興機構（JETRO）等と連携して国内外向けプロモーション活動を推進する。
- 2020年に開設した、ビジネスコンシェルジュ東京・香港窓口を拠点として、香港をはじめとするアジア企業に対し、東京の魅力やビジネス環境等をPRし、東京進出につなげていく。
- 金融分野で活躍する専門家や著名人、日本に駐在する外国人ビジネスコミュニティなど、第三者の目線から、東京の魅力やビジネス機会について情報発信をしていく。
- 情報を伝えたい対象に、必要とされる情報が届くよう、発信するコンテンツや媒体を選択して情報発信をしていく。その際、SNSや動画についても積極的に活用を図っていく。

② 企業の英語による情報発信支援

- 優れた技術や製品を有しているが、英語による情報発信が困難な企業に対し、FCTと連携し、英文情報開示に係る助言、IR資料等の英語翻訳等の支援を行う。

③ 金融系外国企業・人材に対する情報アクセシビリティの改善

- Access to Tokyoやビジネスコンシェルジュ東京などによる情報発信を質・量とも充実していく。
- また、様々な支援情報を一元的に収集できるよう、ウェブサイトを整備していく。

- ▶ また、東京には優れた技術や製品を有しているが、人的・資金的制約等により、英語による情報発信が困難で、いわば「隠れた原石」となっている企業が存在する。こうした企業情報の、英語による発信支援は、東京への投資の呼び込みにつながる取組である。

本事業における英文情報開示支援の考え方

- 国際金融都市・東京構想の実現に向け、東京の証券市場を海外投資家にとってもより投資しやすく魅力的なものにするために、英文開示実施率※の向上を目指す必要がある。
- 企業の英文情報開示にあたっては、海外投資家が目を向け、また、企業の海外展開にも寄与するような取組が重要であり、日本語情報の英文化と併せて効果的なIRを行う必要がある。
- そのため、単に日本語資料を英語化する翻訳支援を行うだけでなく、エクイティストーリーの構築・海外への情報発信、海外IRに関するアドバイスなど、幅広く質の高い取組が求められる。
- また企業によって英文開示対応のキャパシティやノウハウが異なるため、企業のステージに合わせた柔軟な支援が必要となる。本支援は年度ごとの活動になるため、支援が終了した後に企業が独自で英文開示を進めていけるように資料や材料を準備することも本支援の中にも含まれる。

※具体的には東京証券取引所上場部が公表する「英文開示実施状況調査集計レポート」に掲載される英文開示実施率を指す。

令和7年度のDisclosure G概要・スケジュール

本RFPの対象

事業名・概要	1Q	2Q	3Q	4Q
1 【上場企業個別英文IR支援】 ・個別支援企業数:15社程度 ・IRアドバイザー(エクイティストーリー構築支援) ・決算関連資料の英訳支援 ・海外投資家コミュニケーション支援	募集開始 事前説明会	選定審査会(随時) エクイティストーリー構築	個別支援 過年度支援企業の状況確認・効果測定	報告書提出
2 【IR動画制作支援】 新規 ・個別支援企業と海外投資家との接点を増やすため、個別支援企業のIR動画(2~3分)の制作を支援 ・制作した動画は個別支援企業に提供し、海外投資家の目に触れる活用方法を検討	動画内容・掲載先等検討	企業との打ち合わせ 動画制作支援(最大15社)	ウェブサイト等に掲載	報告書提出
3 【英文IR人材育成講座(2日間)】 ・外部講師による人材育成講座 ・企画案:投資家目線の開示ノウハウ、企業の事例、AI翻訳の活用等 ・開催形式:会場+オンライン ・最新の開示規制に関する情報等も盛り込む	企画	集客	開催当日 報告書提出	
4 【英文IRワークショップ】 ・外部講師による人材育成講座 ・30名程度 ・開催形式:会場のみ(懇親会付)	企画	集客 開催当日	企画 集客 開催当日	報告書提出

1 上場企業個別英文 IR支援(対象:東証グロース市場又はスタンダード市場上場企業 15社程度)

◆目的

- 東証グロース市場・スタンダード市場上場企業に対する英文開示支援を通じた企業の海外投資家へのエクスポージャー拡大

◆成果物

- 最大15社への開示資料英訳及びアドバイス内容報告書
- 令和5、6年度支援先企業へのヒアリングシート収集(年2回)
- 翌年度事業の実施に向けた改善点を明確にした報告書

◆Aspirational Goal

- 支援終了後の海外投資家とのミーティング件数増加、投資額増加 等

◆Activities

- 定例会議運営・議事進行・議事録作成
- IRアドバイス、エクイティ・ストーリー構築支援等のIR助言
 - 本事業の実施要綱作成(選定基準の検討含む)
 - 支援対象企業の募集に関する業務(告知等)
 - 支援対象企業選定のための選定委員会の開催
 - IRアドバイス(エクイティ・ストーリーの構築を中心としたIRアドバイス)
 - 決算短信及び決算IR説明会資料等の作成アドバイス
 - 過年度支援企業ヒアリングシートの内容検討
 - 令和5年度個別支援企業12社へのアンケート・ヒアリング等の効果測定
 - 令和6年度個別支援企業15社へのアンケート・ヒアリング等の効果測定
- 開示書類の英訳、海外投資家とのコミュニケーションアドバイス
 - 決算短信及び決算 IR 説明会資料等(決算期によって有価証券報告書*、事業計画及び成長可能性に関する事項の開示も対象とする)の英訳支援 *有価証券報告書の英訳支援については、選定企業のうち5社以上は対応するものとする
 - 海外投資家とのコミュニケーションアドバイス

◆備考

- 選定委員への謝金も費用負担に含む
- アドバイス内容については事務局に報告できるよう書面に残しておくものとする

2 IR動画制作支援

- ◆目的
 - 「上場企業個別英文IR支援」対象企業のIR強化、魅力発信強化を通じた海外投資家へのエクスポージャー拡大

- ◆成果物
 - 「上場企業個別英文IR支援」対象企業(最大15社)のIR動画
 - 制作したIR動画を当該企業ウェブサイト及び海外投資家に訴求する動画プラットフォーム等へ掲載(掲載先はFCTと別途協議)
 - 支援報告書

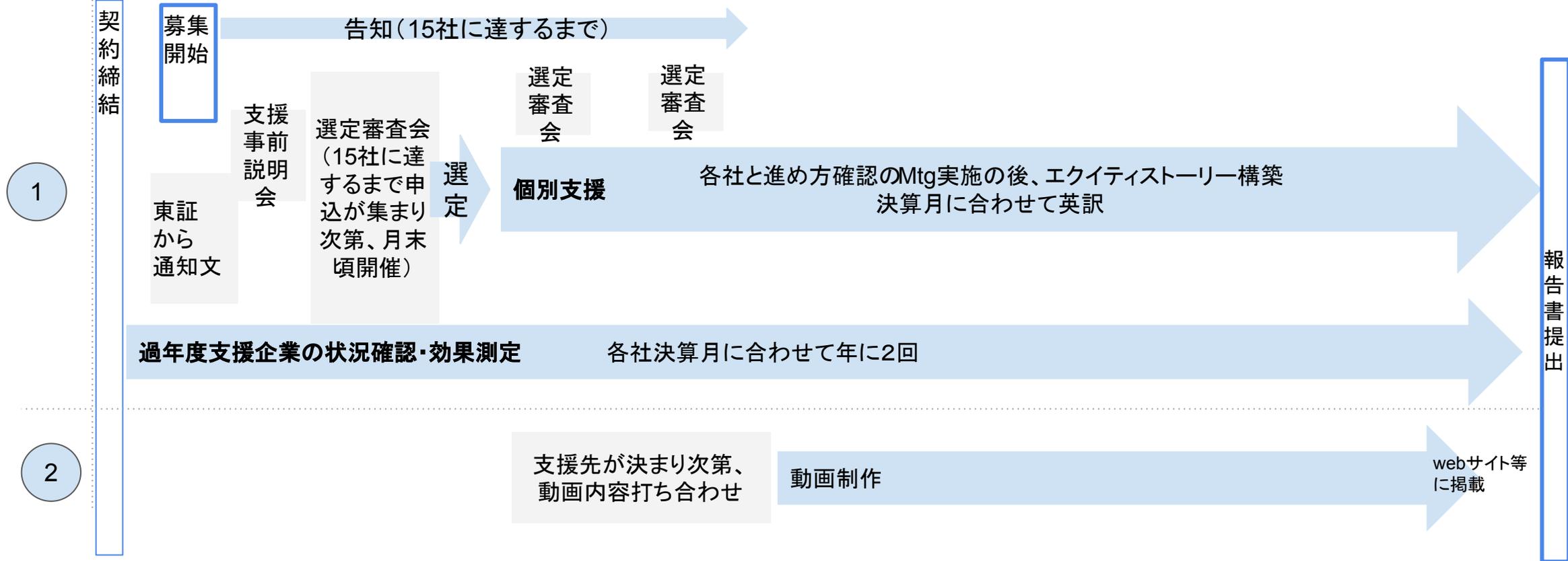
- ◆Aspirational Goal
 - 支援終了後の海外投資家とのミーティング件数増加、投資額増加、支援先企業ウェブサイトへのアクセス数増加 等

- ◆Activities
 - IR動画の作成
 - 「上場企業個別英文IR支援」対象企業CEO等による自社の魅力・強み、取組等を紹介するIR動画(2～3分・英語・最大15社)制作
 - 動画内容のディレクション及び原稿作成
 - 制作した動画については、当該企業のウェブサイトの他、海外投資家の目に触れるウェブサイトや動画プラットフォーム等への掲載を行う。

- ◆備考
 - 動画制作等について、適宜専門業者への再委託を行うことも可能とする(再委託する場合は弊機構と別途協議すること)
 - アドバイス内容・動画構成については事務局に報告できるよう書面に残しておくものとする。
 - 支援期間終了後も企業が自由に使用できるよう、制作した動画の権利等は支援先企業に帰属するものとする。

上場企業個別英文IR支援 実際の支援プロセスイメージ

	April	May	June	July	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	March
--	-------	-----	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------



提案依頼内容

【事業期間・委託金額等】

- 事業期間 : 2025年4月1日~2026年3月31日
- 委託金額 : 4,500万円(税込み)
- 選定方法 : プロポーザル方式
- 評価 : 事業に関する企画提案内容及び価格を総合的に判断して選定
- 支払方法 : 事業終了後に提出する納品物(報告書等)の確認後に支払う(具体的な支払時期については別途協議)
- 備考 : 事業遂行に当たり、再委託も可能とする。

【留意点】

- P.5-6記載の業務委託内容に対し、提案書及びプレゼンテーション動画により、貴社独自の企画をご提案ください。
- 貴社の事業概要及び本事業の貴社担当者(複数名いる場合は全員)の略歴を提案資料内に必ずご記載ください。
- 上場企業の未公開情報や個人情報を扱う場合があるため、貴社の情報管理体制についても必ずご記載ください。
- 本事業の受託事業者の決定については、提出された提案書及びプレゼンテーション動画を基に審査を行い、その後必要に応じてFCTの指定する事業者について審査会を実施し、提案内容及び価格を総合的に判断して選定する。
- 今後のスケジュールについては、次頁記載のとおりとする。なお、スケジュールは今後変更する可能性がある。
- 本事業は、FCTの令和7年3月の理事会にて、FCTの事業計画が承認され、かつ東京都の令和7年度歳入歳出予算が、令和7年3月31日までに東京都議会で可決された場合において、令和7年4月1日に確定させるものとする。

業務履行にあたっての留意点

- 本事業の企画・運営にあたっては、無理のないスケジュールを立案の上、適切な進行管理を行い、期限を遵守するとともに、確実に業務を執行すること。
- 本事業を円滑に推進するため、事業の実施方針や進め方、技術的対応等について、FinCity.Tokyoと十分に調整を図るとともに、FinCity.Tokyoから申し出があった場合には、速やかに本委託業務の進捗状況を報告すること。
- 契約金額には本業務の履行にかかる一切の費用を含むものとし、金額的に実施不可能な提案は行わないこと。
- 本委託業務の実施に当たり知り得た情報については、他の目的で使用する事及び売買することを禁止する。本委託契約終了後も同様の取扱いとする。

【今後のスケジュール】

- 2月 10日(月):RFP公示
- 3月3日(月):提案書・動画提出期限(当日17:00までに送付ください)
- ~3月13日(木):契約候補者の選定
- 4月 1日(月) :事業開始

【送付先】

- FinCity.Tokyo 英文情報開示支援事業事務局担当 東海林美咲 メールアドレス:misaki.shoji@fincity.tokyo

権利の帰属

- この仕様書に基づく業務により作成された作成物に係る著作権の全ては、FinCity.Tokyoに帰属するものとする。受託者は、FinCity.Tokyo及びその指定する者に対して成果物の著作権者人格権の行使をしないこと。
- 作成等に当たり、第三者の著作物を利用する場合には、当該第三者から受託者が適切な許諾を得ておくこと。なお、委託完了後もFinCity.Tokyoが無償で著作物を利用できるようにすること。
- 作成等に当たり、他者の著作権を含む知的財産権、肖像権その他のいかなる権利も侵害しないこと。万一他者の権利に抵触した場合は、受託者の責任と費用をもって適正に処理すること。

問い合わせ先

一般社団法人東京国際金融機構(FinCity.Tokyo)
英文情報開示支援事業事務局 担当 東海林美咲
メールアドレス:misaki.shoji@fincity.tokyo

審査要領

1. 次頁記載の審査項目について、審査員が採点を行う。
2. 各審査員は、採点の合計得点が最も高い提案者に投票を行い、得票数が最も多い提案者を契約候補者とする。
3. 得票数が最も多い提案者が複数あるときは、全審査員の採点を合計した総合計得点が最も高い提案者を契約候補者とする。
4. 上記3の場合で、総合計得点も同一の提案者が複数あるときは、当該提案者の中から、審査委員長が契約候補者を選定する。
5. 契約候補者と契約できない事由が生じたとき(辞退など)は、当該候補者を除く提案者について、上記と同様の投票を行い、得票数が最も多い提案者を契約候補者とする。
6. 審査員の採点の平均が「2」未満の審査項目がある提案者は、契約候補者としない。提案者が一者のみの場合も同様とする。

審査項目 1/2

項目	評点	倍率	評価の視点
1. 全般的事項			
業務理解:業務の理解、業界課題の理解、課題解決のためのクリエイティビティ	1~5	×4	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業目的を正しく理解した事業提案となっているか ● 上場企業の英文IRの動向・ニーズ等を踏まえ、英文IRの課題、解決策が示されているか
業務体制 (Capability):業務・事業を円滑に推進できる体制		×4	<ul style="list-style-type: none"> ● 当法人と円滑な連携が可能で、主体的に事務局を運営する体制及びその責任者が確保できているか ● 本事業運営に対し、専門的かつ的確なアドバイス・サポートができる知識・経験を有するか ● 外国語スキルについて、ネイティブスピーカーレベルのコミュニケーションが可能な体制を組んでいるか ● 投資家目線で効果的な英文IRを理解しているか ● 企業英文IR動画制作の専門性を有するスタッフもしくは専門業者を確保できているか ● 上場企業の英文開示促進を行う「株式会社日本取引所グループ」および「株式会社東京証券取引所」と円滑に連携を行うことができるか

審査項目 2/2

項目	評点	配点	評価の視点
2. 上場企業個別英文IR支援業務			
英文IR支援業務:(対象領域の理解、専門性、専門人員の確保、情報管理体制、支援内容の柔軟性)	1~5	×6	<ul style="list-style-type: none"> ● 提案者の本業を踏まえ、英文IR支援(エクイティストーリーの構築などのIRアドバイス及び本事業における支援対象開示書類*の英訳)に対する実績が十分にあるか ● 英文IR支援にあたり、支援内容に創意工夫が見られるか ● 企業のエクイティストーリー構築支援が可能な知見や経験を有しているか。またその専門性を持ったスタッフがいるか。 ● 上場企業15社の支援が可能な体制が確保できているか ● 支援先企業から入手する情報(特に上場企業の未公表の重要事実)に関し、法令に則った情報管理が適切に実行できる体制があるのか <p>*本事業における英訳支援開示書類(①決算短信②決算 IR 説明会資料③有価証券報告書④事業計画及び成長可能性資料)</p>
3. 英文IR動画作成業務			
動画制作:投資家の理解、企業の強みを発掘するクリエイティビティ、海外投資家への効果的な情報発信に関する知見、専門人材の確保	1~5	×6	<ul style="list-style-type: none"> ● 投資家への訴求ポイントを発掘しスピーチにまとめるスキル・専門性を有しているか ● 動画の「企画」と「制作」に関する専門的知見を双方有しているか ● 動画の掲載先や使用方法に関し、創意工夫が見られるか ● 15社への支援が可能な体制が確保できているか
合計		100	

親族関係に関する申告の要請

- 貴社の役員又は役員以外で本件への応募の意思決定に関与した方に、一般社団法人東京国際金融機構の役員(理事及び監事)との親族関係があるときは、契約候補者となった場合、その旨の申告をお願いいたします。
- 申告すべき「親族」の範囲は「配偶者、生計を同一とする者(未成年者の子を含む)」を最低限とし、それ以外の親族についても、知りうる限りにおいて該当があれば申告いただきます。
- 親族関係の有無を理由として、審査において不利益な取扱をすることはありません。

(参考)過年度の選定企業

令和4年度選定企業(15社)	ウィルズ	プレミアアンチエイジング	ハイブリッドテクノロジーズ
	グッドパッチ	リビングプラットフォーム	ヤプリ
	コアコンセプト・テクノロジー	アクシージア	THECOO
	GRCS	コンフィデンス	ココナラ
	全研本社	デコルテ・ホールディングス	湖北工業
令和5年度選定企業(12社)	i space	アピリッツ	INFORICH
	AnyMind Group	GAテクノロジーズ	住信SBIネット銀行
	note	ブシロード	プログリット
	プロジェクトカンパニー	ボードルア	ワンキャリア
令和6年度選定企業(15社)	アゴーラホスピタリティグループ	うるる	ギックス
	ジーニー	セルム	タスキホールディングス
	坪田ラボ	ナレルグループ	VRAIN Solution
	Chordia Therapeutics	Japan Eyewear Holdings	トビラシステムズ
	トヨクモ	日華化学	ベースフード

(参考)令和6年度英文IR人材育成講座の内容

10/7 参加人数:
オンライン 373名、会場45名
10/8 参加人数:
オンライン720名、会場92名

10月7日(月) 14:00~17:00

主にスタンダード市場、グロース市場、TOKYO PRO Market、未上場会社向け

14:00~14:05 共催者挨拶

東京証券取引所 取締役常務執行役員 青 克美

14:05~14:50 上場会社パネルディスカッション

株式会社INFORICH 取締役兼執行役員CFO 橋本 祐樹 氏
株式会社GRCS 総務部 横山 達也 氏
株式会社アクシージア 経営企画室 山田 莉菜 氏
Lawyer's INFO株式会社 取締役COO 重松 英 氏 (モデレーター)

14:50~15:40 日本企業のIRに求めること ~海外投資家の視点~

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社 取締役 日本株式運用 総責任者 豊田 一弘

15:40~15:55 休憩

15:55~16:10 東京都の取組み

東京都 スタートアップ・国際金融都市戦略室 特区・規制改革担当部長(プロモーション推進担当部長
スタートアップ戦略推進担当部長兼務) 田中 健 氏

16:10~16:50 海外投資家向けIRを行う上で必要な考え方 経営層とIR部門が留意すべき点

浜辺真紀子事務所 (IR/ESGコンサルティング) 代表 浜辺 真紀子 氏

16:50~17:00 共催者挨拶

一般社団法人東京国際金融機構 事務局次長 飛田 亮

10月8日(火) 14:00~17:30

主にプライム市場向け

14:00~14:05 共催者挨拶

東京証券取引所 取締役常務執行役員 青 克美

14:05~14:30 プライム市場における英文開示の拡充と東証の取組み

東京証券取引所 上場部開示業務室課長 内藤 啓介

14:30~15:20 グローバル投資家との対話における留意点

ペンローズジャパン 創業者 曾我 有希 氏

15:20~15:35 休憩

15:35~16:25 上場会社パネルディスカッション

株式会社リクルートホールディングス IR部グループマネジャー 沈 みずほ 氏
横河電機株式会社 経理財務本部IR部部長 中谷 博彦 氏
株式会社アドバンテスト 経営戦略本部IR部部長 尾池 純子 氏
ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 ディレクター 原山 真紀 氏 (モデレーター)

16:25~17:25 英文開示の実践~日英同時開示の実現に向けて~

英文開示実施に向けた計画の立案: 日本財務翻訳株式会社 代表取締役社長 松本 智子 氏
翻訳外注時のポイント、プロの翻訳者から見た機械翻訳: 宝印刷株式会社 国際事業統括部 小林 大和 氏

17:25~17:30 共催者挨拶

一般社団法人東京国際金融機構 事務局次長 大山 智子

お問い合わせメールアドレス: disclosure.g@fincity.tokyo



(一社)東京国際金融機構 (FinCity.Tokyo)



(株)日本取引所グループ・(株)東京証券取引所 共催

ウェブサイト: <https://fincity.tokyo/events/2373/>

(参考)令和5年度英文IR人材育成講座の内容

英文IR人材育成講座 プログラム

セミナー申込 ▶ 下記URLまたはQRコードよりお申込みください。

<https://disclosure-g-ir2024.peatix.com>



※ 自社と異なる市場区分向けの日程にもお申込みいただけます。

※ 会場への参加については、企業経営者及びIR担当者の皆様を優先的にご案内させていただきます。

2月20日 (火) 14:30 - 17:30

For スタンダード市場、グロース市場、TOKYO PRO Market、未上場企業

14:30 - 14:40 共催者挨拶	東京証券取引所 取締役常務執行役員 青 克美 氏
14:40 - 15:20 上場会社パネルディスカッション	アピリティ 取締役執行役員 CFO 永山 亨 氏 GA technologies Management Strategy Division IR 部長 渡辺 聡子 氏 note IR リーダー 三浦 愛梨 氏 Lawyer's INFO 取締役 COO 重松 英 氏 (モデレータ)
15:20 - 15:30 休憩	
15:30 - 15:40 英文IRに関する東京都の取組	東京都 スタートアップ・国際金融都市戦略室 特区・規制改革担当部長 福永 真一 氏
15:40 - 16:15 英文 IR 支援を受ける際の心得	トランスパシフィックエンタープライズ 取締役社長 レイ・デボア 氏
16:15 - 16:55 プレインイングリッシュの考え方 ～投資家が望む情報発信術～	エイアンドピープル 代表取締役 / 一般社団法人日本プレインラ ンゲージ協会 代表理事 浅井 満知子 氏 エグゼクティブアドバイザー 堀田 祐介 氏
16:55 - 17:00 共催者挨拶	FinCity.Tokyo 事務局長 増田 剛 氏
17:00 - 17:30 ネットワーキングセッション (会場のみ)	

※ 諸事情によりプログラム内容や時間は変更される可能性があります。

2月21日 (水) 14:30 - 17:30

For プライム市場

14:30 - 14:40 共催者挨拶	東京証券取引所 取締役常務執行役員 青 克美 氏
14:40 - 15:25 英文開示のニーズと投資家が真に求める情報	フィデリティ投信 ヘッド・オブ・エンゲージメント兼 ポートフォリオ・マネージャー 井川 智洋 氏
15:25 - 15:35 休憩	
15:35 - 16:10 プライム市場における英文開示の拡充について	東京証券取引所 上場部企画 G 統括課長 池田 直隆 氏
16:10 - 16:55 IR 部門に期待される役割と人材の育成	日本 IR 協議会 専務理事 佐藤 淑子 氏
16:55 - 17:00 共催者挨拶	FinCity.Tokyo 事務局長 増田 剛 氏
17:00 - 17:30 ネットワーキングセッション (会場のみ)	

お問い合わせメールアドレス: disclosure.g@fincity.tokyo



(一社)東京国際金融機構 (FinCity.Tokyo)



(株)日本取引所グループ
(株)東京証券取引所 共催

2/20参加人数:
オンライン413名
会場48名

2/21参加人数:
オンライン824名
会場86名

(参考)令和4年度英文IR人材育成講座の内容

プログラム

2022年9月26日(月)

グロース市場/スタンダード市場/TOKYO PRO Market/未上場向け

13:00~13:05

開会挨拶

東京証券取引所 取締役専務執行役員 小沼 泰之氏

13:05~13:45

海外投資家を知る

ジェイ・ユラス・アイアール シニア・マネージャー 原山 真紀氏

13:45~14:45

上場会社パネルディスカッション

カオナビ 取締役CFO 橋本 公隆氏
 アバント コーポレート コミュニケーション室長 西村 賢治氏
 モデレーター 原山 真紀氏

14:45~14:55

休憩

14:55~15:25

英文開示促進に向けた東証の取組

東京証券取引所 上場部 調査役 藤澤 明子氏

15:25~16:55

英文開示の実践

英文開示実施に向けた計画の立案
 プロネクサス ディスクロージャー事業部 グループ戦略部 担当部長 児玉 高直氏
 翻訳外注の活用 宝印刷 執行役員 国際事業統括部長 三輪 哲也氏
 機械翻訳の活用 国立研究開発法人情報通信研究機構 フェロー 隅田 英一郎氏

16:55~17:55

英文開示における基礎英語

トランスパシフィックエンタープライズ 取締役社長 レイ・デボア氏

17:55~18:00

閉会挨拶

東京国際金融機構 事務局長 横田 雅之氏

2022年10月5日(水)

プライム市場向け

13:00~13:05

開会挨拶

東京証券取引所 取締役専務執行役員 小沼 泰之氏

13:05~13:45

海外投資家を知る

ジェイ・ユラス・アイアール 代表取締役 岩田 宜子氏

13:45~14:35

海外投資家とのコミュニケーション

大塚商会 社外取締役/浜辺真紀子事務所 代表 浜辺 真紀子氏

14:35~15:05

英文開示促進に向けた東証の取組

東京証券取引所 上場部 課長 後藤 潤一郎氏

15:05~15:15

休憩

15:15~15:55

海外投資家が求める英文開示

カタリスト投資顧問 シニア・グローバル・アドバイザー
 東京国際金融機構 アンバサダー イェスパー・コール氏

15:55~17:25

英文開示の実践

英文開示実施に向けた計画の立案
 プロネクサス ディスクロージャー事業部 グループ戦略部 担当部長 児玉 高直氏
 翻訳外注の活用 宝印刷 執行役員 国際事業統括部長 三輪 哲也氏
 機械翻訳の活用 国立研究開発法人情報通信研究機構 フェロー 隅田 英一郎氏

17:25~18:05

英文開示における基礎英語

トランスパシフィックエンタープライズ 取締役社長 レイ・デボア氏

18:05~18:10

閉会挨拶

東京国際金融機構 事務局長 横田 雅之氏

9/26参加人数:
 オンライン372名
 会場28名

10/5参加人数:
 オンライン849名
 会場79名

IRワークショップの位置付け

